

感染症発生動向調査／多摩立川感染症週報

2026年 第37週 (2026年9月7日～9月13日)

東京都多摩立川保健所 保健対策課 電話042-524-5171(代表)

＊管内(立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市)の今週の感染症発生動向

【定点把握対象疾患】＊定点医療機関：COVID-19定点21医療機関・インフルエンザ定点21医療機関・ARI定点21医療機関・小児科定点14医療機関・眼科定点2医療機関

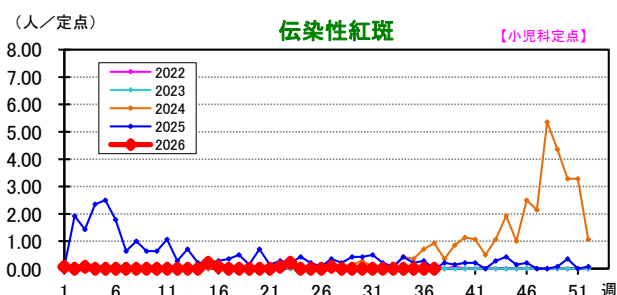
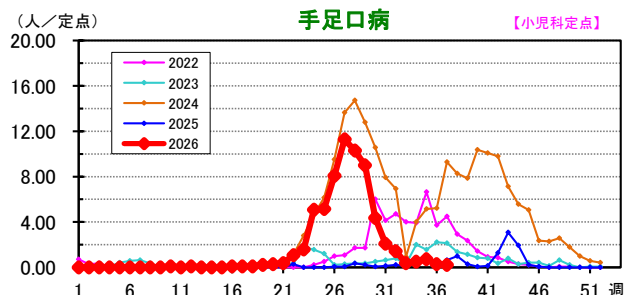
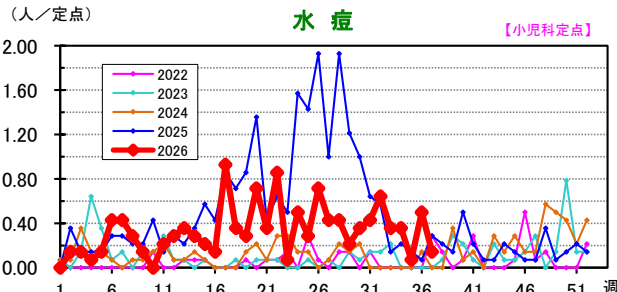
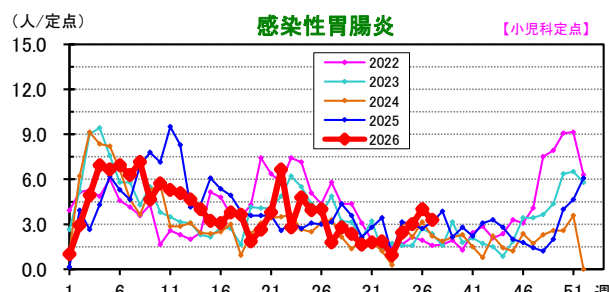
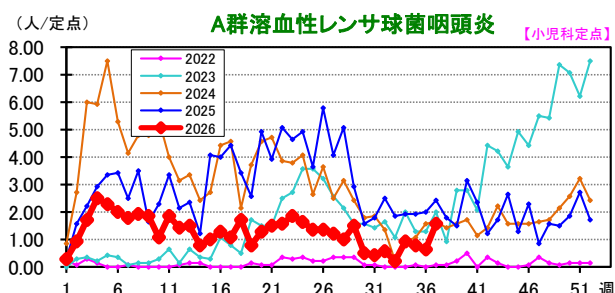
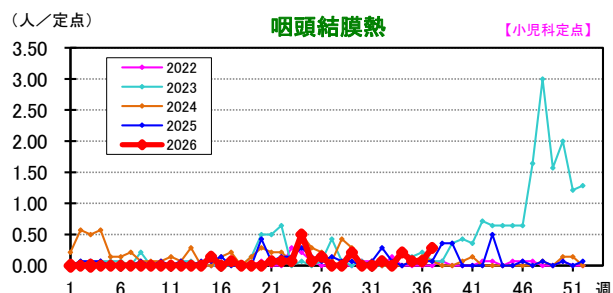
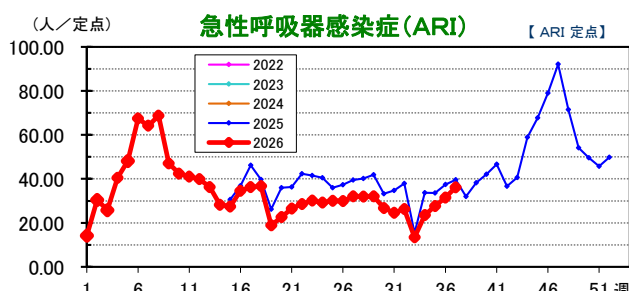
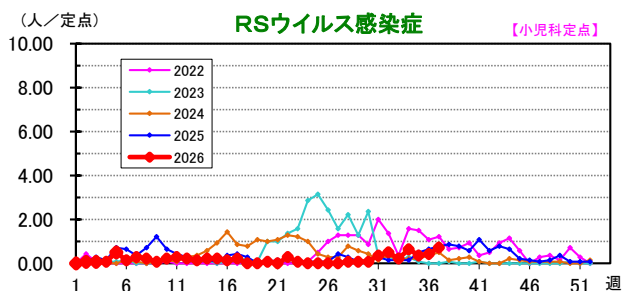
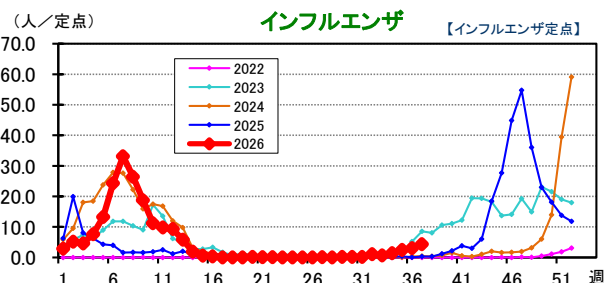
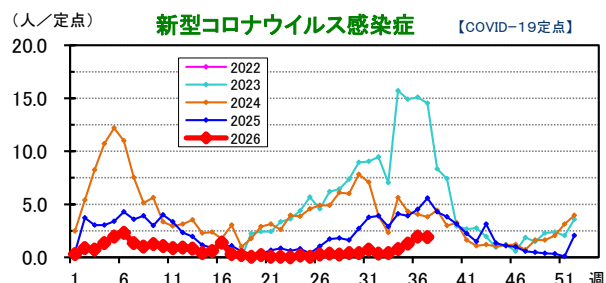
・インフルエンザの定点当たり報告数が4.38と前週(3.00)から増加しています。基本的な感染予防対策を心がけてください。

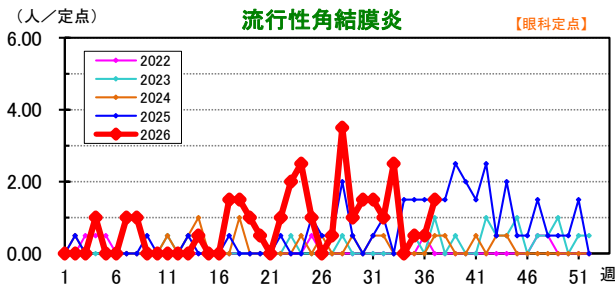
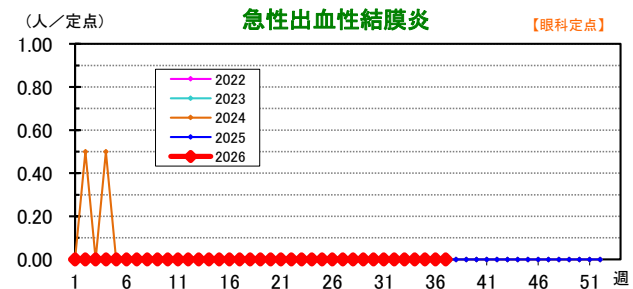
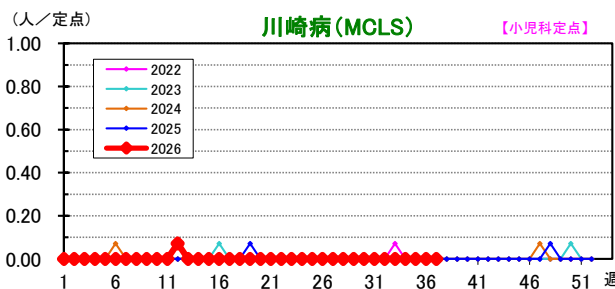
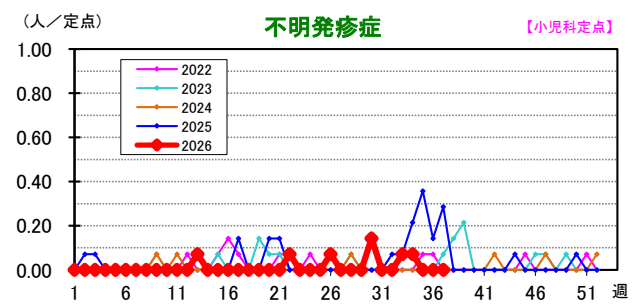
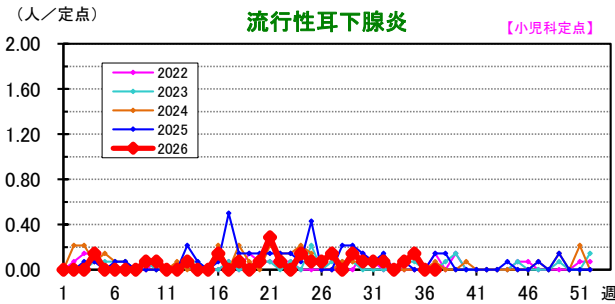
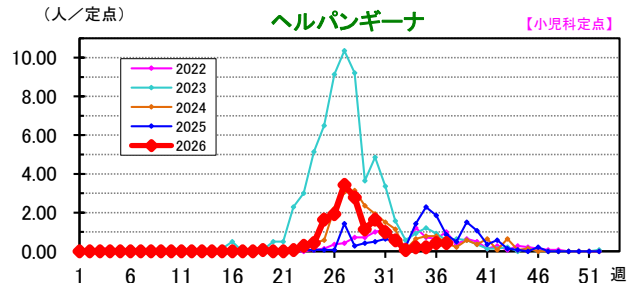
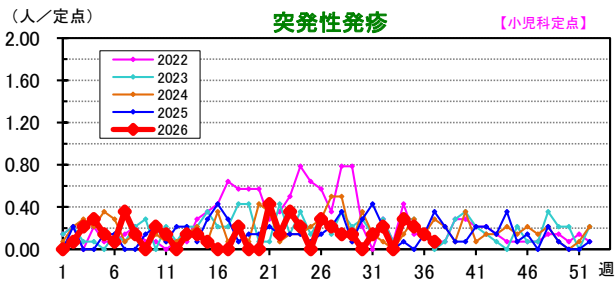
・急性呼吸器感染症(ARI)の定点当たり報告数は36.14で、前週(31.52)から増加しています。今後の動向にも注意が必要です。

【感染症集団発生状況(新規)】

・保育所において、インフルエンザ3件、不明熱(ヘルパンギーナ・マイコプラズマ肺炎含む)の報告がありました。

・高齢者施設において、インフルエンザ1件の報告がありました。





【都内の感染症発生動向について】
東京都感染症情報センター
<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>

【国内の感染症発生動向について】
国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/pdf-j.html>

* 管内定点医療機関あたり報告数(直近4週間)

疾病	2026								1週からの 報告累計数
	34週		35週		36週		37週		
	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	
新型コロナウイルス	16	0.76	27	1.29	41	1.95	40	1.90	569
インフルエンザ	29	1.38	52	2.48	63	3.00	92	4.38	3,985
RSウイルス感染症	9	0.64	5	0.36	6	0.43	10	0.71	97
急性呼吸器感染症(ARI)	494	23.52	581	27.67	662	31.52	759	36.14	26,314
咽頭結膜熱	3	0.21	1	0.07	1	0.07	4	0.29	29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.93	11	0.79	9	0.64	22	1.57	668
感染性胃腸炎	34	2.43	42	3.00	56	4.00	46	3.29	1,992
水痘	5	0.36	1	0.07	7	0.50	2	0.14	172
手足口病	7	0.50	10	0.71	4	0.29	3	0.21	877
伝染性紅斑	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	11
突発性発疹	4	0.29	3	0.21	2	0.14	1	0.07	73
ヘルパンギーナ	3	0.21	3	0.21	6	0.43	6	0.43	229
流行性耳下腺炎	1	0.07	2	0.14	0	0.00	0	0.00	28
不明発しん症	1	0.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	7
川崎病(MCLS)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1
急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
流行性角結膜炎	0	0.00	1	0.50	1	0.50	3	1.50	57

毎年9月24日から30日は、結核や呼吸器感染症に関する正しい知識の普及啓発を図るため、「結核・呼吸器感染症予防週間」と定められています。結核の症状には、長引く咳や痰、微熱、倦怠感などがありますが、初期には目立たないことが少なくありません。特に高齢者では気づきにくく、発見が遅れることがあります。咳や痰が2週間以上続く場合や、微熱、倦怠感が続く場合は早めに医療機関を受診しましょう。また、年に1回は健診を受け、結核の早期発見に努めましょう。

毎年9月24日から30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です!!